

【編集/発行】岩本優祐  
枚方市東牧野町24-29  
TEL:072-851-1428  
【発行】平成26年3月

枚方市議会議員

岩本ゆうすけ

議員報告

政 党 無所属

会 派 未来に責任・みんなの会

会派方針 未来に責任を持つ政治、即ち次世代にツケを残さない、問題を先送りしない政治を目指すことを基本方針とする会派です。

市政改革一点突破!

※本チラシの質疑は要旨です。実際は丁寧な言葉でのやり取りとなっています。

岩本の考え

① 広く週休2日制が定着してきているとは言え、販売やサービス・医療・福祉など、土日で仕事される方も増えています(保育園は平成24年度から休日保育も開始)。また保育料は平成26年度から改定の予定ですが、子育て支援・就労支援と言うなら、まず開室日や時間を見直すべきです。そのために民間委託等による民間事業者のノウハウを活用すべきと考えます。

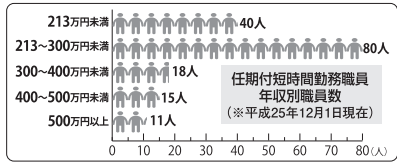
② 職責の説明がありましたが「リーダー的な役割」等と非常にあいまいでした。事実上、採用時期で区分されているだけと言ってもよく、倍ほどの給与差の理由として納得するには無理があります。(長期休み以外はお昼1時頃～夕方7時頃までの放課後の事業、土日は休み。年収500万円を年間1,612時間で換算すると時給3,000円以上となります)任期付短時間勤務職員は、制度として見直しが必要と考えます。

【答 弁】  
土曜日には部分的に臨時開室しているが出席率は低く、週休2日制が定着したと認識し、土曜日開室の実施は困難と考えてきた。開室時間は、三季休業時の開室を8時半に繰り上げ、閉室を午後7時に拡大した。今後、27年度の新システムに向けて国から設備及び運営の基準も示され、適切に対応していく。

【答 弁】  
平成17年度に任用した職員を「留守家庭児童会室指導員」、平成18年度以降に任用した職員を「留守家庭児童会室児童育成員」として区分し、指導員はこれまでの豊富な経験を活かし、総括的責任者として指導や助言をはじめ、保護者への対応等、児童会室の運営にあたり、リーダーの役割を担っている。指導員の給料は、一般職非常勤職員で勤務してきた経験等を踏まえ決定した。

【質 問】  
現在、小学校の留守家庭児童会室は土曜日には開室していない。(※平成13年度までは土曜日開室されていた)(※保育所は土曜日にも開所)また、夏休み冬休み等の開室は朝8時半からであるが、保護者の出勤に間に合わない場合、子供が開室まで校門前で待つており安全面に問題がある。(※保育所の開室は7時)保護者の就労は多様化しており、土曜日開室を実施、また開室時間を早めるべきではないか?

【質 問】  
留守家庭児童会室の職員は、全員が同じ任期付短時間勤務職員であるにも関わらず、年収に大きな差があるが、差額の根拠について、職員の職務内容に差があるのか?



「留守家庭児童会室の運営を改善すべし!」  
「小1の壁」解消へ!

「任期付短時間勤務職員」は見直しが必要!

平成25年12月議会

中司前市長は返さなくてははいけないのか? 退職金(2期分約5千万円)返納について

枚方市は「市の談合事件総括」を受けた枚方市退職手当審査会の審議答申に基づき、前市長の退職金(2期分約5千万円)の返納手続きを進めようとしています。本年1月29日、市議会での答申についての全員協議会が開かれ議員10名が質問。うち私を含む8名が、審議の経緯や結論に疑問を感じ、「返納を求める必要なし、慎重にすべき」との立場から質疑を行いました。ところが竹内市長は「手続きは進める」と答弁し、議員の意見を聞くのは形だけで結論ありきの審議の在り方を強く感じました。

この問題については、昨年市がまとめた「総括」に疑問があります。つまり  
中司前市長が買ってきた  
無罪主張の論点  
小堀前副市長が無罪となり、官製談合ではなかった事実  
市に実質的な損害がなかった  
物的証拠もなく  
事実誤認が濃厚な中で前市長が再審請求の準備をしている  
という特異な事件であるにもかかわらず、「総括」はその点に触れず判決文を要約しただけ、市独自の検証はしていないという事です。市側と関係の深い委員が選任された審査会で肝心な部分は非公開で審議が進められるなど、手続きにも不透明さが目立ちました。

全協での岩本の意見(要旨)

①個人の重大な不利益処分を審議するにあたり、公平・中立とは言いがたい委員の選任方法  
②原則公開としながら 肝心なところを非公開にし、議事録も公開しない密室での審議の在り方  
③市の諮問と審査会の答申で適用する条例が違うなど、市が返納の根拠とする条例があいまいな点  
④刑罰の対象となっていない間接的な事実についても、市長在任中の犯罪行為と拡大解釈していること  
⑤見るべき財産がない個人に対し、生活が破壊されるか調査せず、10年前に支給した手当の全額返納を求める人権・人道上の問題  
など、今回の質疑を通し多くの問題点が浮かび上がった。いわゆる官製談合ではなかったとされるこの事件の特異性に触れず、返納ありきで突き進む市の姿勢に、まるで政争の具にしているような疑問を感じる。不明確な条例規定を拡大解釈して適用し重大な行政処分を行うことは、「本来、行政が個人に対し不利益処分を行う場合は必要最小限にすべき」という比例原則を大きく逸脱しており、権限の濫用と考える。議会意見を軽視せず十分受け止め、このまま手続きを進めることなく慎重に再検討されるよう指摘する。



発行者紹介



岩本ゆうすけ

好きな言葉

- 一燈照隅(各々が持ち場で責任を果たす)
- 自ら機会を創り出し 機会によって自らを変えよ

尊敬する人  
両親

好きな食物  
カレーライス

家族構成  
妻、娘(6才)

- 昭和55年3月5日、大手前病院生まれ
- 大阪ガスセキュリティサービス(株)
- 甲斐田新町出身、東牧野町在住
- 平成23年5月より現職。
- きよし幼稚園、山田東小、山田中を経て近大附属高校卒。ユングバウムに学ぶ。
- (一社)枚方青年会議所、NPO法人ふれあいネットひらかた、地域活動や消防団にも参画しています。
- 立命館大学法学部卒業
- (株)パナ

WEBもご覧ください。



ホームページ  
ブログ

http://www.ganpon.net/  
http://ameblo.jp/iyusuke/



ご意見やご質問・市政相談がございましたら、  
岩本ゆうすけまでご連絡を!

自 宅 枚方市東牧野町24-29  
携 帯 070-6654-6679  
メール yusuke@ganpon.net

日々の活動

- 被災地の宮城県を視察
- 武雄市にてTSUTAYAの運営する図書館を視察
- 農業体験でのボランティア
- 関谷学校にて論語を素読
- 平野校区体育祭にて







●9月議会の様子

## 9月議会は、他の項目についても質問しています。

- 枚方市市民まちづくり基本条例(仮称)について  
条例化や実効性に疑問。
- 枚方市役所のWEBサイトについて  
枚方市WEBサイトの見にくさを指摘。

**答 弁**  
 複雑多様化する市民ニーズに対応するため、管理職員として職員労働管理をする立場ではなく、特定分野に関してより一層、掘り下げ、業務を専門的に遂行する立場を望む側面もある。今後さらに、中核市移行や地方分権改革の進展に伴い業務範囲が拡大、内容も高度化・専門化することから、特定分野に精通した管理職員の配置、いわゆる、複線型人事制度の構築に向け取り組んでいきたい。

**質 問**  
 昇任試験の受験率が低下傾向にある原因について、課長代理になれば管理職員として職責の重み以外に職員の労働管理を行う必要性が生じるためではないか。ゼネラリストを目指すのではなく、技術力を高め、経験を蓄積し現場で高度な専門知識を活かしプロフェッショナルとして従事したい職員も存在するのではないか。そこで、特定分野への専任を目的とした人事制度、いわゆる複線型人事制度を明確に構築してはどうか？

## 7 岩本の考え

子供たちは学校行事が減り地域活動が減るなど、成長の過程での体験活動が不足しています。学校・家庭・地域がこれまで以上に連携し、人に役立つ喜びや課題解決による学ぶ喜びを経験させ、真の学力、生きる力を身に付けさせる取組が必要です。保護者のニーズも調査し、土曜授業を全校で実施していくべきです。

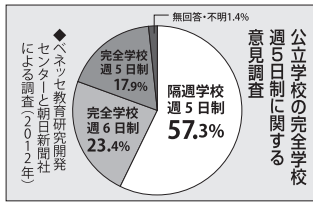


**答 弁**  
 本市は全小中学校が、夏休み短縮など授業時間数確保に取り組み、学習指導要領に定められた時間数を確保している。現状は授業時間数確保のための土曜授業実施は予定していない。また土曜日は授業参観や行事、「枚方こどもいきいき広場」や市教委主催行事、部活動支援などの機会を提供している。

## 質 問

市では、さまざまな教育水準の向上を図る取組を進めているが、土曜授業について現状と今後の方向性は？

**目 指 せ！ 小中学校での土曜授業の復活**  
 ●平成25年9月議会  
 昨秋、全公立校で土曜授業を目指すとの記事が、各新聞に掲載されました。平成26年度から小中高生の学力向上のため、土曜授業を行う公立校への補助制度を設ける内容です。



## 12月議会は、他の項目についても質問しています。

- 就学時健康診断について  
就学時健康診断についてあり方を見直すべき。
- 学校での健康診断について  
市教委として集計していない平均身長・体重のデータを集計分析し、教育指導・健康指導に活かすべき。
- 全国学力テストについて  
全国学力テストの結果を学校ごとに公表すべき。



●12月議会の様子

## 24年度決算を決算特別委員会として質疑

枚方市決算(平成24年度)の20項目以上について事業の必要性、効率性、サービス向上の観点から質疑を行いました。抜粋して紹介します。

|               |                  |                  |                  |
|---------------|------------------|------------------|------------------|
| 外郭団体補助金の在り方   | 商店街活性化補助金の使途について | 枚方市NPO活動支援基金の充実  | 臨時財政対策債と地方交付税    |
| 高コストの食育講座の必要性 | 学校給食施設のメンテナンス業務  | 生活保護制度の運用適正化に向けて | 市税徴収率向上の取り組み     |
| 休日保育の有用性      | がん検診・精密検査受診率の向上  | 特定健康診査・特定保健指導    | ダイヤルイン導入で電話受付の改善 |

(詳細はWEB等をご確認下さい)

**質 問**  
 コンビニ交付は市民の利便性が非常に高く、コストも低く抑えられたシステムだが(現在、住基カードを持つ市民が少なく、コンビニ交付での発行が伸び悩んでいる)住基カードがコンビニ交付の付加価値を高める必要があるのではないか？

**答 弁**  
 平成25年10月より、枚方市でコンビニエンスストアにおける証明書等(住民票・印鑑証明・課税証明)の自動交付がはじまりました。住基カードがあれば全国のコンビニで発行ができます。

## 8 岩本の考え

コンビニ交付が普及すれば、これまでの市役所設置の自動交付機より1枚当たり約99円以上のコスト減少がはかれるとの試算があります。平成24年度の全体発行件数は約36万件。今後、これらがコンビニ交付に移行していけば、窓口の人員削減・行財政改革にもつながります。将来的にはマイナンバー法案の影響もありますが、当面はこの取り組みを周知すべきです。

## 質 問

付加価値向上のため、システム改修に合わせ戸籍謄抄本等のコンビニ交付を検討していへ。

## 新サービス！ 証明書のコンビニ交付業務

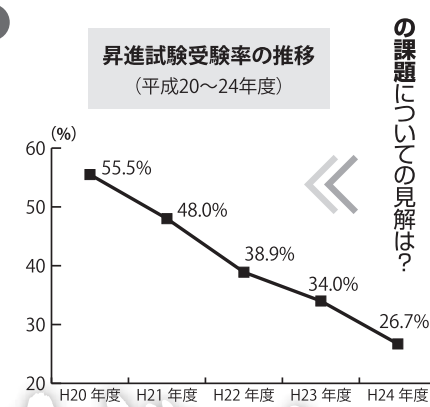
平成25年12月議会

## 5 岩本の考え

メリハリのある制度設計と言いつつ、職務級の低い職員が、職務級の高い職員より年収額が高くなっている逆転現象もあります。急ぎ改善を図らなければなりません。

## 答 弁

昇任試験の受験率減少は職員の意欲低下だけが原因と捉えておらず、職務職責への価値観の違いも大きい。現行制度は、上位職制で給料が上がるメリハリのある制度で、制度上も昇格の動機づけが図られている。



## 質 問

枚方市の昇任試験は、キャリア形成の節目である課長代理主任の2つで実施されているが、受験率は低下傾向で、近年で受験率が半以下になっている。課長代理は係長と給料があまり変わらず、昇格しなくても給与が上がる制度に問題があると考え、減少の原因と給与制度の課題についての見解は？

## 生活保護ホットラインについて

情報をお寄せ下さい。

受付 月曜～金曜  
 午前9時～午後5時半  
 ☎専用ダイヤル 072-843-5979  
 こんきゅうなく  
 hogotekisei@city.hirakata.osaka.jp  
 ファクス(072-843-5979)も対応。

## 4 岩本の考え

ケースワーカー不足の状況が続いており、より細やかな対応をめざし、国の補助金も活用しながら体制を整える必要があります。各機関とより一層連携を深め、自立支援にこれまで以上に力を入れていかなければなりません。

## 6月議会は、他の項目についても質問しています。

- 教諭によるいじめ・体罰問題について
- 創エネ・省エネの取り組みについて

再発防止の徹底

## 生活保護制度 運用の適正化をはかり、自立を支援せよ！

平成25年6月議会

## なぜ 昇任試験受験率が5年で半分以上に低下したのか？

平成25年9月議会

意識が変われば、市政は変わる。